

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 I III 】
2 実施対象者	茨城県立波崎柳川高等学校 第1学年 第2学年生徒
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>1 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (パラキャン体験講座)</p> <p>3 その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>1 イベント名 ()</p> <p>2 その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックの競技でもある車椅子バスケットボールを体験することで競技スポーツとしての障がい者スポーツを理解する。 ・障がいとは単に身体的機能を失うことではなく、可能性をあきらめることであり、社会環境の整備や人としてのつながり、助け合いによって克服できるものであることを理解する。
5 取組内容	<p>①事前学習 HR活動にて車椅子バスケットボールのルールを学習する。</p> <p>②車椅子バスケットボール体験講座 平成30年2月5日(月) 本校体育館 11時～12時45分：第1学年 13時30分～15時15分：第2学年</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>車椅子バスケットボールの説明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>講師によるデモンストレーション</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>代表生徒20名による 競技体験</p> </div>



全生徒による車椅子体験



小グループによる質疑応答



ファシリテーターによるまとめとスローガンの読み上げ

③事後学習

体験の感想、障がいについての理解、すべての人が希望を持って生きるために必要なこととは何か等ワークシートにまとめた。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> •実際に体験することで障がい者スポーツについて理解が深まり、パラリンピックに興味を持つことができた。 •障がい者アスリートの素晴らしいプレーを目の辺りにすることで夢や希望を持ち努力することで充実した生活を送ることができること、可能性は広がっていることを理解できた。 •小グループでの活動では車椅子での生活について実体験を直接聞いたことで「共生社会の構築」に向けての現状や今後の課題について考えることができた。
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> •体験型の事業にこだわり、今回の内容となった。実施団体が用意してくれた今回のプログラムは期待どおりであった。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> •受入側として、本校施設自体に不備があった。 体育館が2階 障がい者用トイレがない 控え室までの移動動線上の段差
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> •機会をとらえて、オリンピック・パラリンピック教育を行っていく予定。